

講演予稿執筆・投稿要領

用紙(A4 版、1 枚)の上部 25mm、左右下部 20mm を余白にし、上から題目、所属・発表者、本文の順でご執筆ください。テンプレートをホームページからダウンロードしていただけます。予稿原稿の PDF ファイル(モノクロ、2MByte 以下)を電子メールにて ion-sympo@ml.hosei.ac.jp 宛にご送付下さい。

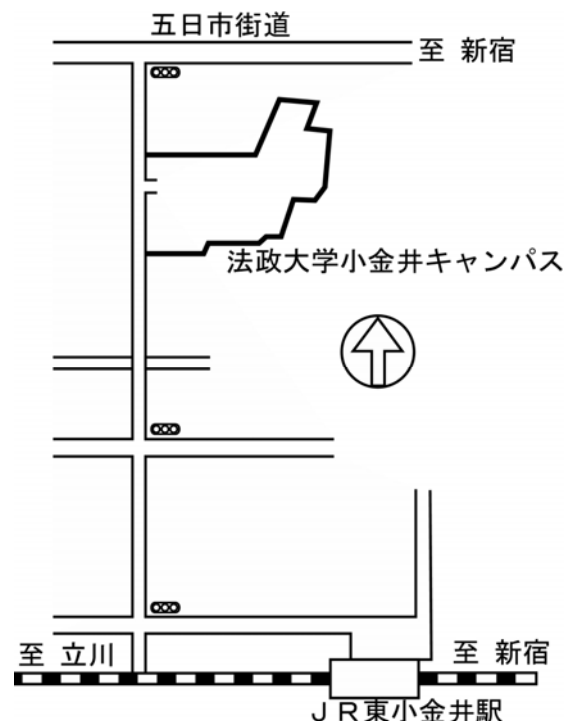
Proceedings(英文)執筆要領

A4 用紙の上下左右 30mm を余白にし、上から題目(大文字)、著者名、所属、アブストラクト(200 語まで、シングルスペース)、本文(シングルスペース)の順でご執筆ください。原稿は 4 または 6 ページをご選択下さい。オフセット印刷にて B5 版に縮刷されます。文献番号は本文中に上付き数字にて指示してください。また、参考文献は、本文の末尾にまとめ、番号、著者、Journal 名、巻(太文字)、ページ、発表年の順でご記載ください。

予稿原稿と同様に テンプレートをホームページからダウンロードしていただけます。完成原稿は PDF ファイル形式にて電子メールにて ion-sympo@ml.hosei.ac.jp 宛にご送付下さい。

シンポジウム HP

<http://www.ionbeam.hosei.ac.jp/sympo/symposium.html>



JR 中央線東小金井駅(北口)より
徒歩 12 分または、
バス 武蔵小金井駅行、関野橋循環にて
「法政大学」下車

問い合わせ先

〒184-8584

東京都小金井市梶野町 3-7-2

法政大学イオンビーム工学研究所

TEL : 042-387-6094

FAX : 042-387-6095

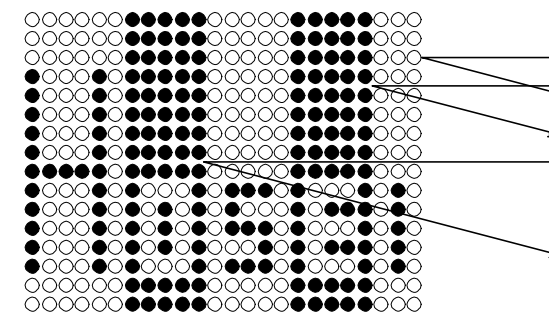
HP : www.ionbeam.hosei.ac.jp

E-MAIL : ion-sympo@ml.hosei.ac.jp



第 34 回法政大学 イオンビーム工学研究所 シンポジウム

The 34th Symposium on
Materials Science and Engineering
Research Center of Ion Beam Technology
Hosei University



期日 2015 年 12 月 9 日 (水)

会場 法政大学小金井キャンパス
マルチメディアホール

主催 法政大学イオンビーム工学研究所

法政大学イオンビーム工学研究所は法政大学 100 周年を記念して設立されました。本シンポジウムは 1982 年に第 1 回を開催し、イオンビームの電子材料技術への応用、分析技術などの研究成果を討論する目的で開催してまいりました。

今年度のシンポジウムは「イオンビーム技術と関連材料技術」をテーマとしております。このイオンビームが広く利用されている分野での最先端の研究の話題や情報を提供していただき、活発な討論の場といたしたく、関連分野の研究者の方々に積極的に研究発表いただきますようご案内申し上げます。

講演は招待講演と一般講演で構成され、一般講演ではショート講演とポスターセッションを予定しております。また、シンポジウムで発表された論文は Proceedings(2015)として 2016 年 3 月に発行する予定です。

- ・ 予稿原稿締切り 11 月 5 日(木)
- ・ 論文原稿締切り シンポジウム当日

招待講演

原 史朗 氏（産業技術総合研究所）
「超小型半導体生産システム ミニマルファブ～その概念と市場、及び開発」

平子 敬一 氏（株式会社 IHI）
「衛星搭載用小型地球センサ ～民生エアコン用赤外検出器を応用して～」

豊川 弘之 氏（産業技術総合研究所）
「高エネルギー光子ビームを用いた非破壊検査技術に関する研究」

一般講演

下記のようなキーワードで一般講演を募集しますが、イオンビーム利用技術に限らず関連材料・技術に関する講演を広く募集します。

- ・ 生体微量元素分析技術
- ・ ナノパーティクル形成などナノテクノロジーへの応用
- ・ ワイドバンドギャップ半導体のデバイス技術
- ・ 半導体への不純物ドーピングおよび金属、絶縁物の表面改質
- ・ 薄膜結晶、VLSI 用電極などの成膜技術
- ・ プラズマプロセス、イオン源および分析技術などのイオンビーム工学関連技術

申込要領

同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、予稿原稿とともに、法政大学イオンビーム工学研究所までお申込ください。プログラム編成の都合上、講演内容を表すキーワードを 4～5 語程度付記ください。講演申込締切りは **2015 年 11 月 5 日(木)**です。講演者には講演予稿および論文原稿の執筆をお願いいたします。

講演申込の方には、プログラムを予め(12月上旬)にお送り致します。また、参加申込はシンポジウム当日も受け付けますが、事前にプログラム送付をご希望の方は 11 月中旬までに参加申込をお願いいたします。

- ・ 参加費 無料
- ・ 予稿集、Proceedings 代 千円当日会場受付